



# 男体

第34号  
平成16年9月1日発行

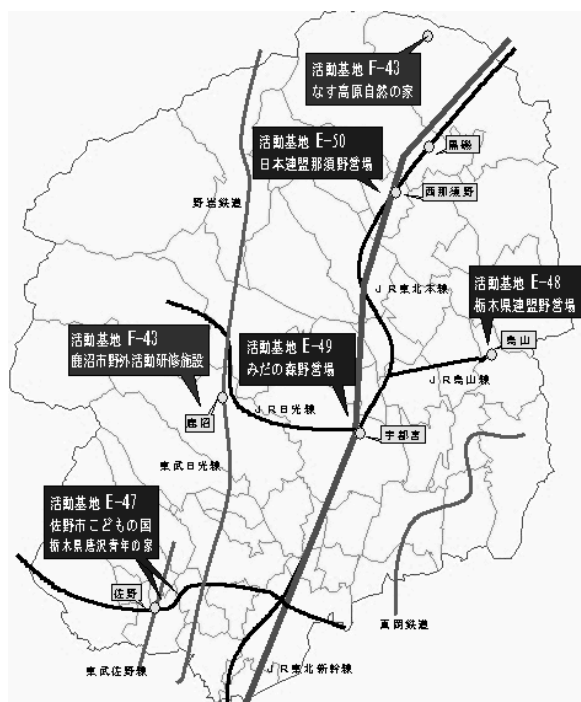


## 第6回ベンチャースカウト大会

平成16年8月2日(月)～7日(土)  
第6回日本ベンチャー大会が開催されました。

ボーイ隊が対象のジャンボリーは良く知っていることと思いますが、同じく4年に一度開かれているベンチャースカウト対象の全国大会が日本ベンチャーになるわけです。

今回の大会は、前回までの活動基地ごとの活動のほか全員が一ヶ所に集結するという形をやめて、全て活動基地だけで行うという(一度も全員が集まらない)初めての形式で行われました。



関東各地に設けられた基地の中で、栃木県では5つの基地があり、佐野・烏山・宇都宮・西那須野の4基地では「冒険広場が町にやってくる」というテーマで、ロープワークを活かして、手製のアスレチック施設を作り地域の子もたちに遊んでもらうというもの。もうひとつの基地は、「おくの細道ロマンの旅inとちぎ」と題し、江戸時代の俳聖 松尾芭蕉がたどった「おくの細道」の栃木県内部分をたどっていくというものです。

活動の詳細は日連のホームページに載っていますが、県内各基地の様子をこの後のページで紹介します。

6NVホームページは、<http://www.6nv.scout.or.jp/>

目次	
6NV各基地の様子	2～4
6NVに参加して・VS	4
わくわく夢体験の船	5
自然公園大会	5
隊長のひとりごと・・・	6
菊スカウト誕生	7
カブラリーの情報	7
事務局のうごき	6

## 与える喜び～宇都宮活動基地

宇都宮活動基地（みだの森）の基地スタッフとして6 NVに参加しました。県外指導者2名の隊長・副長に加え、北は宮城県、南は熊本県から男子20名、女子6名のベンチャースカウトの参加がありました。はじめは遠慮がちだったスカウトも、各種ネットやモンキーブリッジ作りの共同作業を通じて打ち解け、とてもフレンドリーなアットホームな基地になりました。



また、冒険広場の公開前日は、設営が夜に及んだにも関わらず、安全面のチェックや、ゆるんだロープの締め直しなど労力を惜みず、自発的に準備を進めてくれました。

公開日は90名近くの来場者があり、子ども達を楽しませようとスカウト達が懸命に、また自らも楽しそうに協力し合う姿がとても印象的で、スカウトにとっても「与える喜び」を体験する貴重な機会になったと確信しました。

翌日は県内外からお越しいただいた5名のインストラクターのご指導の下、古賀志山でフリークライミングの体験ができ、スカウトからは「めっちゃ楽しい」と大好評でした。

最後になりますが、期間中さまざまな形でご支援くださった多くの方々に深謝致します。

宇都宮副基地長 和良品文之丞



## 6 NVを振り返って～西那須野活動基地

大会に参加したベンチャースカウトは、「角縛りが出来ない」「モンキーブリッジって何？」と戸惑うことが多く、作業開始時は大丈夫かいいなと思いましたが、何とか公開日に間に合うように、叱咤激励しながら作業を進め、当日を迎え親子連れ150人位（西那須野基地）が参加してくれました。

自分たちの手で作った、モンキーブリッジ、巨大迷路、一本橋等で、子供たちにルールの説明、注意事項を伝え、一緒になって遊んでいる姿は、とてもステキでした。

普段の活動では味わえない何かを確実に掴んだようでした。プログラムって本来、参加した方が感動を得ないと本物ではないなと実感しました。

今回、西那須野の基地長として参加しましたが、大会までの事前の打合せ、手配、準備等々、仕事の合間や仕事を休んでまで、取り組んでくれたスタッフに感謝申し上げます。

西那須野基地長 相馬啓二



## サノキャンプナンバーワン、サンキュー～佐野活動基地

栃木佐野基地は、8月1日午後12時、副基地長出井、施設資材班長中島、プログラム班長谷、施設資材次長金原、そして基地長大川が田沼町ガストに集結し、楽しい団樂の昼食から6NVが始動した。その時、誰もがこのような事態になるうとは予想しなかった。

昼食も終わり、全員で唐沢青年の家に向かい、愛媛、兵庫からの奉仕基地要員の受入れ準備を始めたが、時間になっても現れない。すると、小玉君という同じ苗字で同じ顔の青年が、汗をかきかき二人現れた。その後、愛媛と



いうが東南アジアあたりから来たと思われる宮川さんが到着した。早々、基地会議を始めるが、この三名の方が基地運営にあたり、大きな力となった。

又、今回佐野基地運営にあたり、全面的な南部地区のバックアップをいただき、8月5日までの間、毎日必ず各団1名以上の奉仕をしていただき、総勢53名もの地区指導者の皆様のご協力をいただきました。地区の皆様のご協力なしでは、佐野基地の運営は成り立ちませんでした。本当に感謝申し上げます。

そしてスカウト達、みな素晴らしいベンチャーでした。香港スカウト14名を加え、ウエルカムパーティーから始まり、準備作業、公開日、基地フェスティバル、そして那須に移動しても、団結はすごかった。佐野基地が一隊の派遣ベンチャー隊になったような錯覚をしたほど宮川隊長のもと、香港も日本のスカウトも一緒になった。今回、香港スカウトを受入れして、大変であったが、スカウト、そして私達も良かったと思います。

最後の佐野基地解散式の言葉は、私たちは忘れません。「サノキャンプナンバーワン、サンキュー」

佐野基地長 大川則道

## 感動の6NV～烏山活動基地

**さあ始まるぞ...** 8月2日10時、4月から迎え入れの準備を進めてきた県連野営場に、一番早いスカウトが到着した。その後、JR烏山線で参加スカウトが続々と集結し、当日は27名がそろった。昼食後、野営地にテントを設営し、夕食前にハンモック作りの作業が展開された。夕食後には、開会式が盛大に行われ、烏山町長を始め、多くの来賓の皆さんから歓迎の挨拶をいただいた。学校の都合で送っていた残り2名のスカウトは3日と4日に到着した。



**子供たちに夢を...冒険広場を作ろう** 8月3・4日は、5日に会場が開かれる冒険広場の工作物作成に取り組んだ。各班ごとに設計図を検討しながら夜遅くまで話し合った。天候にも恵まれ、工作物は4日の夕方にはすっかりできあがり、自分たちで遊ぶ姿が見られた。

5日の朝、冒険広場の開会には烏山町教育次長さんを始め、多くの地元の方が見え、盛大なオープニングセレモニーが行われた。その後、約50名の子供たちが集い、丸太やロープで組み上げた様々な工作物に触れ、楽しい一日を過ごした。

**感動...再会を誓って** その後那須野営場に移動し、キャンプファイヤーを囲んで感動のひとときを過ごしたスカウトたちは、再会を誓い合いながら、それぞれの故郷へと帰っていった。

烏山基地長 星野 典雄



## 6 N Vの開閉会式に参加して！ 古河～白河活動基地

8月2日午後7時、鹿沼市野外活動センターに於いて、6 N V「おくの細道ロマンの旅in栃木」の開会式が始まりました。

夕闇の中、渋いナレーションに合わせて旅姿の「芭蕉と曾良」が登場。その後火矢によるファイヤーサークルに点火。いやがおうでもその場の雰囲気は最高潮！！燃え上がる火を囲み、一人ひとりが自己紹介。これから始まるチャレンジに参加スカウトは何を見出すのか。其れこそ夢とロマンの始まりです。各スカウトの瞳の奥に旅への期待と光が見え



えました。  
一週間があっという間に過ぎ、8月7日なす高原自然の家での閉会式。

一人ひとりが感想を述べているのを聞いてみると、一週間がとても楽しく過ごせたかが分かりました。大きなチャレンジを成し終えたスカウト達が大きく見えました。



つづいて室内が暗くなり、ローソクのステージ。鏡に映るはスカウトが辿ってきた「おくの細道」の経路。よく見ていると、な・な・なんと足跡ではありませんか！

参加したスカウトの皆さんご苦労様でした。そして一週間仕事も顧みずに運営にあたったスタッフの皆さん本当にお疲れ様でした。参加したスカウトの心に思い出の1ページがまた増えたことでしょうか！参加スカウトとスタッフの皆様様に心から弥栄を贈ります。「弥栄、弥栄、弥栄！」

古河～白河基地スタッフ 疋田利秀

## 第6回日本ベンチャー大会(神奈川県・湘南/横浜)に参加して

私は宇都宮15団の和良品君と参加し、海のない県に住んでいる私たちはサーフィンやヨットを体験したいと思い、神奈川で開催される「シーサイドライフと史跡探訪の旅」を選びました。

会場には関西からのスカウトが多く来ており、皆「なまってんな～」と思いましたが、皆が言うには栃木弁の「なまり」が一番しんどいそうで、私はショックを受けました。



あっという間に過ぎた大会期間でしたが、次に会う時は「石川の日本ジャンボリーか世界ジャンボリー」と約束できる友達ができた事が、今回最大の「心の徳」と思っています。

しかし約束を果たすためには英検2級を取得しなければならず、これからが大変です。

宇都宮1団ベンチャー隊 戸部唯彦

## 「ワクワク夢体験の船」に参加して

今回で第9回目となるこの「ワクワク夢体験の船」は、私は今回で3回目の参加になりました。

そこでの私は、ぐ～たら殿。その国、パーチャョ国は7月23日から28日まで、雄大な北海道に向けてぐ～たら殿を治すべく旅に出ました。

北海道では、サイクリングや魚のつかみ取り、札幌の友だちとも交流もして、子どもたちも栃木県だけでは出来ない経験をする事ができたと思います。

子どもたちも様々な個性の子がいて、楽しく過ごすことができました。また、高校生リーダーもその子どもたちを



大変よくまとめてくれました。

殿のぐ～たらも治り、仲間も一回り以上成長して帰ってきたように思います。

今年も事業実行委員として、他団体のガールスカウト・県子供会連合会などとの交流の機会を与えてくださった、県教育委員会に大変感謝しております。この先も、他団体や他県との交流の機会を今まで通り続けていっていただきたいです。

安蘇第2団 谷 俊郎

## 自然公園大会に参加して

第46回自然公園大会が7月27日～29日の3日間、塩原地区で開かれ、全国各地から集まったボーイスカウトやガールスカウト、緑の少年団、スポーツ少年団関係者の子どもたちが参加しました。

1日目は、テントの準備をした後の自由時間に、トランプをしたり、外で遊んだりしながら仲間づくりをしました。

2日目の昼間は、自然観察会やクワガタ教室、木工教室などのプログラムに分かれての活動を行いました。僕は、ペットボトルに懐中電灯をつけて、色を塗ってペットボトルランタン作りをして楽しみました。また、夜には「森の音楽劇」が行われ、会場が一体となって盛り上がりました。

そして3日目。台風が近づく中、午前中はみんなで雨の中サイクリングをして楽しみました。しかし、全員がサイクリングで楽しんだ後のテントの始末が大変でした。

僕は以前、キャンポリーで同じような体験をしたため、班の人に雨の場合の対策を教えて、なんとか雨から荷物を守ることが出来ました。でも、他の団体では、靴を外に出せばなしだったり、テントの入り口を開けて寝ていたため、テントの中が水浸しになってしまった班もありました。

僕は、今回班長として大会に参加し、グループをまとめる事の大変さと重要性を学んだだけでなく、自然の豊さを体で感じる事ができました。



鹿沼1団 星野 翔平

## 隊長のひとりごと……

其の

「あーア、きょうはひとりだけか……。ひとりだけじゃ、何にも出来ないよなア。どうしようかな？ 困ったなー。しょーがない、今日の活動は『ひとりでお買い物』にしよう。この子は元気がいいから、ひとりでお店に行かせても大丈夫だろう……。」

其の

コラー!! 何度、言ったら分かるんだ！ さっきから、危ないからダメだって言ってるだろう。（ここからがひとりごと）「マツタク、人の言うことを聞かないんだから。こういう時は、大きな声で怒った方がいいんだよなア。怒らないと分からないんだから…。」

其の

「エーッ。秘密基地が一番面白かったの？ デイキャンプじゃなかったの？ あんなに苦労して準備したのに…。みんなうれしそうに遊んでたじゃないか。ネタに困って、思いつきでやった秘密基地作りが一番楽しかったのか……。」



これは、私がビーバー隊長になりたての頃のひとりごとです。

はスカウトの数が少なくて、毎回の活動に苦労していた時期。隊長として、やるべき事やプログラムの貧困さを「スカウトの数が少ないから出来ないんだ」と決めつけ、自分自身の責任ではないと思い込んでいた頃。（恥ずかしい!）

は言うことを聞かないスカウトは「とにかく叱ればいいんだ」とばかりに、よく大声で怒っていた頃。勿論、今はできるだけ叱らず、分かりやすい言葉でよく説明をして理解させるようにしています。（これがまた、とても難しい。）

はカブに上進前のスカウト達に、今までやったなかで何が一番楽しかった？と聞いた時。隊長としては、何ヶ月も前から時間をかけて、苦労しながら準備をした「デイキャンプ」と答えてくれることを半分期待しながら聞いてみたところ、アッサリと「秘密基地」といわれてしまいました。実は、秘密基地作りはプログラムのネタ切れで、とっさの思いつきでやったものだったので、正直言って少しショックでした。この時は、大人が押し付けた楽しさは子供にとって決して思い出にはならない、ということを知り、ビーバースカウト達に教えられました。

おまけのひとりごと

「カブラリーやBP祭やいろいろなイベントなんかで、よく他の団のビーバー隊と会うけど、やっぱりうちのビーバーが一番可愛いや!!」

宇都宮18団 ローバー隊長 小嶋 修

## 菊スカウト誕生

東部地区の宇都宮15団と河内1団のボーイ隊から7名、南部地区の足利1団から1名の菊スカウトが誕生しました。

それぞれ、学校の勉強や部活にがんばる傍ら、スカウト活動においてもジャンボリーや日米フレンドシップパトローリー大会等の行事に参加したり、募金や地域行事の奉仕をしたり、とても積極的に活躍しているスカウトであります。

8人とも現在中学校3年生なので、9月からベンチャースカウトになるわけですが、これからも意欲的に活動を続けていくことを期待しています。



宇都宮15団と河内1団の菊スカウト

### 菊スカウトに認証された8名

宇都宮15団	捧 建蔵
	對馬 智之
	下川 祐美
	高瀬 顕
河内1団	片岡 雅知
	手塚 祐輝
	鈴木 雄大
足利1団	杉田 悠貴

## 第35回 カブラリーの情報

テーマは「里山のたいしょう」

前回に引き続き、10月17日(日)に行われるカブラリーについての情報です。

会場の宇都宮市総合運動公園では、前日(16日)に宇都宮市のイベント「花と緑のフェスティバル」が行われます。このイベントには毎年、東部地区の各団が協力して会場内の樹木を利用した遊びを行っています。



ばなばな

会場は「里山」をテーマとして、多くの樹木が整備されて、「ばなばなの森」には森の妖精「ばなばな」が遊びにきた人を出迎えてくれます。

ただいまプログラムの詳細について検討していますが、参加者は500mlか1ℓの牛乳パックを持ってきてほしいとのことです。用意しておいてください。何に使うのかは来てからの楽しみ!

# 事務局の動き

平成16年

- 7月 3日(土) 理事会
- 7月 3日(土) グローバル委員会
- 7月 4日(日) わくわく夢体験の船 研修部会
- 7月10日(土) 6NV基地長会議
- 7月11日(日) わくわく夢体験の船 結団式
- 7月11日(日) 6NV参加スカウト説明会
- 7月11日(日) カブラリープログラム会議
- 7月23(金) わくわく夢体験の船
- ~ 28日(水)
- 7月27(火) 全国自然公園大会 (塩原町)
- ~ 29日(木)
- 8月 2(月) 第6回日本ベンチャー大会
- ~ 8日(日)
- 8月21日(土) 各種運営委員長会議
- 8月25日(水) 組織委員会
- 8月27日(金) プログラム委員会



今後の予定

- 9月 4日(土) 理事会
- 9月 4日(土) 富士章面接
- 9月12日(日) わくわく夢体験の船実行委員会
- 9月12日(日) 東部地区指導者講習会 (河内町)
- 9月19日(日) カブラリー実行委員会
- 9月22日(水) プログラム委員会
- 9月23(木) WB研修所CS課程栃木第24期
- ~ 26日(日) (田沼町 作原グリーンスポーツ施設)
- 10月 2(土) 各種運営委員長会議
- 10月17(日) 第35回栃木県カブラリー (宇都宮)



作:をかもと

フィクションではありません

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

320-0043  
 栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号  
 電話 028(621)9800  
 Fax 028(621)9800  
 Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク (SOY INK) を使用しています。

ホームページもぜひ見てください。  
<http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/>